

# 東洋學關係佛典目錄

一 東洋史學支那學研究室

## 序

神田喜一郎

いふまでもなく大藏經は東洋學の一大寶庫である。この中には釋尊の敎法を説いたもののみならず、印度や中國の、言語・歴史・地理・民俗・傳説など、あらゆる方面に關した、貴重な資料が多數包含されてゐる。これに夙く着眼したのは、われわれよりもむしろ西洋の東洋學者であつて、フランスに於ける中國學の開祖レミューザが法顯三藏の佛國記を翻譯刊行したのは、一八三六年で、實にわが天保七年にあたる。これについてジュリアンは、また玄奘三藏の西域記と慈恩傳とを、わが嘉永・安政の交に佛譯してゐる。われわれは、かうした事實に對して、まことに慚汗の背に浹きを感じるのであるが、しかし明治・大正以來の、わが東洋學の進歩は、かなり著るしいものがあつて、いくらかそれらの先進國に追ひ

ついたやうに思ふ。いまやわが邦は、すべての方面に於て、更始一新、自ら謙虛の心を以て、やがて世界各國に伍して愧づかしからぬ文化國家を建設せねばならない事實にある。この際、われわれ學問に従事するものも、おなじ心がけを以て、再出發を期せねばならぬのではなからうか。さういふ意味に於て、われわれの研究室では、いま述べたやうな大藏經中の、われわれに最も直接的な關係をもつ典籍について、精しい文獻目錄を編纂し、今後の新しい研究の基礎とすることにした。さうして最初に取上げたのが法顯傳・西域記・慈恩傳の三書である。この目錄には、あらゆる文獻を網羅したつもりである。これを見れば、一面わが邦の東洋學が世界の學壇に、これまでいかなる寄與をしてきたかもわかるし、いろいろ反省の資ともなるかと思ふ。引續いて義淨三藏の大唐求法高僧傳・南海寄歸內法傳や、その他弘明集・高僧傳・

法苑珠林などに關しても、おなじく文獻目錄を編纂中である。かういふ目錄の性質上、脱漏や誤謬は免れないところであるから、何か注意を頂けるならば幸甚である。われわれはこれを是非完璧なものにしたいと念願してゐる。

法顯傳・西域記・慈恩傳の部(大屋徳了)

【法顯傳】

原典

寫本

法顯傳一卷

天平十一年  
(七三九)書寫

正倉院藏

法顯傳一卷

保元年間  
(一一五六—一一五八)書寫

石山寺藏

法顯傳一卷

承安五年(一一七五)——治承二年(一一七八)  
大中臣安長書寫

七ツ寺藏

法顯傳一卷

圓覺禪寺寓住比丘文齊書寫侍司  
比丘正證校合足利尊氏寄進願經

園城寺藏

法顯傳一卷

應永七年(一四〇〇)五月慈檢東成等  
書寫

南禪寺藏

版本

藏經本(省略)

藏外本

高僧法顯傳一卷

沙門玄韻校勘安永八年  
(一七七九)刊

大谷大學藏

佛國記一卷

汲古閣本

佛國記一卷

重較說郛局第六十六所收

法顯記一卷

說郛卷第四所收

佛國記一卷

唐宋叢書別史所收

佛國記一卷

五朝小說魏晉小說外乘家所收

佛國記一卷

增訂漢魏叢書叢籍所收

佛國記一卷

祕冊彙函所收

佛國記一卷

津逮祕書第十集所收

佛國記一卷

學津討原第七集所收

佛國記一卷

龍谿精舍叢書子部所收(覆學津討原本)

翻譯

日本語譯

高僧法顯傳一卷

國譯一切經史傳部小野玄妙  
譯昭和十一年大東出版社印

## 歐洲語誌

1. Foë-koué-ki ou Relation des royaumes bouddhiques. Par Abel Remusat 1836. Paris.
2. Travels of Fah-hian and Sung-yun, buddhist pilgrims, from China to India. Translated by Samuel Beal. 1869 London.

3. Record of the buddhistic kingdoms. Translated by Herbert A. Giles. 1877 London and Shanghai.

4. A Record of buddhistic kingdoms, being an account of the Chinese monk Fah-hian of his travels in India and Ceylon. Translated by James Legge. 1886 Oxford.

5. The travels of Fah-hian, or record of the buddhistic kingdoms. Translated by H. A. Giles. With an illustration and a map. 1923 Cambridge.

## 泰語誌

Cotmāyhetu heng Puttāṇṇakara Khong phra Phiksu Fah-yan: (比丘法顯の佛國記). Translated from the Chinese (James Legge) by Phrayā Surintomrājai (Condra Tungasawadi).

## Bangkok.

## 參考文獻

## 中國

漢西域圖考七卷首一卷

清李光廷撰光緒八年陽湖趙登

漢西域圖考七卷首一卷

清李光廷撰皇朝藩屬輿地叢書第四集所收

晉釋法顯佛國記地理考證一卷

清丁謙撰浙江圖書館叢書第二集(地學雜誌第八卷第十

二及橫山草堂叢書)所收

歷遊天竺三紀傳一卷 支那內學院印本

佛遊天竺三記考釋一卷

民國岑仲勉撰國學基本叢書第一期民國二十三年(一九三四)上海商務

印書館

## 日本

考證法顯傳 足立喜六著 昭和十一年三省堂印行

法顯傳(中亞・印度・南海紀行の研究) 足立喜六著 昭和十五年法藏館印行

法顯三藏旅行地圖 上原芳太郎 佛教史林一一

明治二七

西域に於ける三大求法僧 (法顯・宋雲・玄奘) 旭野慧慈 明治無

三〇

## 原典

## 【大唐西域記】

法顯傳

下村三四吉 密嚴教報二一〇・二二二・二四・二一五 明治三一

法顯三藏渡天記

阿部全鼎 遍照六ノ五 明治三五

法顯の行路

堀謙徳 東洋學報三・四 大正二

晉の僧法顯南アメリカに至る？ 日本に來る？

露伴學人 思想八三 昭和四

法顯傳の研究序說

田中峯三 大正大學學報一九 昭和一〇

六朝時代に於ける佛僧の往來せし西域交通路と其の記錄

嵐瑞漱 佛教學論叢一 昭和一一

沙門法顯の西域の行路

足立喜六 蒙古一五ノ九 昭和一一

沙門法顯の葱嶺通過の研究

足立喜六 史學 一ノ一一

## 歐洲

1. Histoire du bouddhisme. Par M. Abel Rémusat. 1836.

2. Si-yu-ki. Buddhist record of the western world. Translated by Samuel Beal. 1884.

London.

## 寫本

大唐西域記殘

存卷一卷三至卷十一延曆四年(七八五)書寫大治元年(一一二六)寫點了

大唐西域記殘

法隆寺藏

大唐西域記殘

存卷二大治元年(一一二六)五月十六日寫點了法隆寺舊藏

大唐西域記殘

神田喜一郎氏藏

大唐西域記殘

存卷一延曆四年(七八五)連慶書寫

大唐西域記殘

興聖寺藏

大唐西域記十二卷

卷第一至第八長寬元年(一一六三)校正無函字卷第九第十寶德元年(一一四四)

四九)據宋本鈔寫疑字函卷第十一第十二書寫年代不明據麗本鈔寫疑字函

大唐西域記殘

石山寺藏

大唐西域記殘

存卷十一卷十二建保二年(一一二四)醍醐三寶院藏

大唐西域記殘

存卷十一卷十二應永七年(一四〇〇)五月書寫疑字函

大唐西域記殘

南禪寺藏

大唐西域記殘

存卷一卷二卷八應永十九年(一四一一)書寫

大唐西域記殘

存卷五卷六卷八卷十弘治二年(一五五六)至永祿元年(一五五八)書寫

大唐西域記殘

西來寺藏

西域記十二卷

橘寺古寫本平安末鎌倉初期前後書寫東山卿堂佛教徵古館圖錄所載

松本文三郎氏藏

## 版本

藏經本 (省略)

藏外本

大唐西域記

古活字印本無刊記

東洋文庫藏

大唐西域記十二卷

轉疑部寬永二十年(一六四三)庄太夫刊本

大唐西域記十二卷

承應二年(一六五三)中野五郎左衛門刊本

龍谷大學藏  
大谷大學藏

大唐西域記十二卷

增 考異索引 京都帝國大學叢書第一明治四十四年大日

本圖書株式會社印行

大唐西域記十二卷

守山閣叢書史部所收

大唐西域記十二卷

墨海金壺史部所收

大唐西域記十二卷

四部叢刊史部所收

大唐西域記十二卷

南京支那內學院印本

大唐西域記十二卷

常州天寧寺刊本

大唐西域記十二卷

國學基本叢書本

翻譯

日本語譯

大唐西域記卷第三

鎌倉時代前後寫本

糸氏祐祥氏藏

通俗西域記卷第一至第五 慈光寺惠林譯 寫本

龍谷大學藏

大唐西域記十二卷

國譯一切經史傳部小野玄妙譯昭和十一年大東出版社印行

歐洲語譯

1. Mémoires sur les Contrées Occidentales, traduits du sanscrit en Chinois, en l'an 648,

par Hieuen-tsang, et du Chinois en Français, par Stanislas Julien. 2 tomes. 1857—8 Paris.

2. Si-yu-ki. Buddhist records of the western world. Translated by Samuel Beal. 1884.

London. Reprinted in 1906. (Tribner's oriental series).

3. On Yuan-chwang's travels in India. By Thomas Watters. M. R. A. S. edited, after his death, by T. W. Rhys Davids, and S. W.

Bushell, 2 Vols. 1904—5 London, Royal Asiatic society.

泰語譯

Pravatti phra Thang-sam-cang. By Nai Kengh-lyan Sibunruong. PP. 362. 1941 Bangkok.

【大慈恩寺三藏法師傳】

原典

寫本

大慈恩寺三藏法師傳十卷

延久三年(一〇七二)七月十三日書寫

興福寺藏

大慈恩寺三藏法師傳殘

存卷七卷九大治元年(一一二六)三月三十日覺

印移點了法隆寺聖靈院舊藏

大慈恩寺三藏法師傳五帖

文治(一一八五)一一八九建久(一一九〇)一一九八

文永(一二六四)一二七四年間書寫

高野山成福院藏

大慈恩寺三藏法師傳十卷

橘寺古寫本承元四年(一一二〇)四月十五日書寫并移點畢東山陣堂佛教徵古館圖錄所載

松本文三郎氏藏

大慈恩寺三藏法師傳殘

存卷一寶德元年(一一四四)書寫

石山寺藏

大慈恩寺三藏法師傳殘

存卷十有高野山朱印

島田審根氏藏

版本

藏經本(省略)

藏外本

大慈恩寺三藏法師傳十卷增玄奘西域行迹圖

增錄民國劉定權繪民國十二年(一九二三)中國內學院刊本增錄二十一年石印

大慈恩寺三藏法師傳十卷

享保四年(一七一九)京都中野宗左衛門刊本

大谷大學藏

大慈恩寺三藏法師傳十卷增考異索引

增錄宇都宮清吉撰昭和七年

東方文化研究所用麗藏本景印

翻譯

日本語譯

大唐大慈恩寺三藏法師傳十卷

國譯一切經史傳部高田修譯昭和十一年大

東出版社印行

歐洲語譯

1. Histoire de la vie de Hiouen-tsang, et de ses voyages dans l'Inde entre les années 629 et 645 de notre ère. Tr. par Stanislas Julien. 1853 Paris.

2. The life of Hiuen-tsang. By the shaman Hwiti and Yen-tsung. (藏立と彦院)(Trübner's, oriental series) By Samuel Beal. 1888 London. (reprinted in 1911.)

## 參考文獻

(大唐西域記・慈恩傳)

大唐三藏玄奘法師表啓殘卷

天平神護元年(七六五)四月廿二日書寫

知恩院藏

寺沙門玄奘上表記一卷

舊鈔本

小泉策太郎氏藏

大唐三藏玄奘法師表啓一卷

景知恩院藏古寫本吉石齋叢書初集所收

慈恩寺沙門玄奘上表記一卷

東京小泉策太郎氏用舊鈔本景印柯蔭精舍叢書之二

大唐故三藏玄奘法師行狀一卷

嘉保三年(一〇九六)交點明德二年(一一三九)

九一  
感得了

東寺觀智院藏

大唐故三藏玄奘法師行狀一卷

慶安五年(一六五二)修復了

東寺寶菩提院藏

## 中國

大唐西域記地理考證一卷增印度風俗總記一卷

清丁謙撰浙江圖書館叢書第二集又地學雜誌第八卷自第二至第六號所收

玄奘法師五印行跡圖一卷

民國劉定權製圖民國十二年(一九二三)刊

玄奘之成唯識論

民國馮友蘭撰中國哲學史所載民國二十三年上海商務印書館印行

關於大唐西域記

民國鄭振鐸撰困學集所載(民國三十年上海商務印書館印行)

西域記釋地

民國陳仲益北大國學月刊一〇七、八合刊

玄奘法師年譜

民國梁啓超支那內學院精校本玄奘傳書後

玄奘法師年譜

民國曾了若國立中山大學文史學研究所月刊三〇一

唐玄奘法師年譜

民國劉汝霖女師大學術季刊一〇三

唐玄奘法師年譜(續前)

民國劉汝霖女師大學術季刊二〇一

大唐西域記撰人辯機

民國陳垣桑原博士還曆記念東洋史論叢昭和五

唐玄奘法師年譜

民國陳思東北鐫叢一七・一八

唐玄奘法師生卒及西遊年代考

民國劉澤民南開八十一期

玄奘三藏

民國孤鸞北平晨報學園六一一

大唐西域記之譯與撰

民國賀昌羣海潮音一七〇一二又圖書季刊三〇三民國二五

## 日本

解說西域記

堀謙德著大正元年東京前川文榮閣印行

慈恩大師傳

佐伯良謙著大正十四年印行

大唐西域記に記せる東南印度諸國の研究

高桑駒吉著大正十五年啓明會印行

大唐西域記の研究

足立喜六著昭和十七・十八年法藏館印行

通俗玄奘三藏傳 魔訶鬼窟 日本宗教新聞一一二—  
一四四 明治一九

玄奘三藏入竺略記 藤井宣正 令知會雜誌  
六〇—六二 明治二二

玄奘三藏年譜 佛教史林八・九  
明治二七・一一

玄奘三藏旅行圖 藤分法顯 無盡燈一ノ四・五  
明治二九・二

西域に於ける三大求法高僧 (法顯・宋雲・玄奘)

旭野慧意 無盡燈三ノ一・二・三・五  
明治三一

玄 奘 三 藏 阿部全鼎 傳燈二七〇—二七二  
明治三五・九

玄奘三藏生誕の時代及其幼時 阿部全鼎 通照六〇  
明治三五

印度留學中の玄奘三藏 岩上筑川 無盡燈八ノ三  
明治三六・三

玄奘三藏論の一節 阿部全鼎 加持世界四ノ六  
明治三七・六

西域記より得たる史料の排列 橘惠勝 東洋哲學一ノ六  
明治三七・六

玄奘三藏の大唐西域記に見ゆる親貨邏國と漢書西域傳に  
見ゆる月氏國とに就きての考 史學界六ノ二 明治三七

玄奘の旅行に就いて 禿氏羊歩 六條學報五一・五二・  
五四・六〇 明治三九ノ一

西域に現はれたる梵語 平井默堂 新佛教七ノ七  
明治三九・七

玄奘三藏の傳説に對する疑義 (六足論の制作年代研究)

二楞學人 新佛教七ノ九 明治三九  
玄奘三藏の旅行及年代 阿部全鼎 加持世界六ノ一一  
明治三九・一一

玄奘師の御安心 金子凡鳥 四明餘徵二六三  
明治四〇

玄奘時代の印度 阿部全鼎 歷史地理九ノ五  
明治四〇・五

上世印度に關する西人の智識 (再び亞歷山得大王の印度  
遠征を記して地理家としての玄奘三藏に及ぶ)

慈恩の著述と道昭の稟傳 阿部全鼎 有聲二三明治四一・五  
寶池惠見 無盡燈一三ノ二・三  
明治四一

玄奘三藏時代の東印度列國記 阿部全鼎 有聲三七  
明治四二・七

玄奘三藏表啓と玄奘三藏行狀 禿氏祐祥 六條學報一〇  
五・一〇七明治四三・七

翻譯者としての玄奘三藏 禿氏祐祥 六條學報一〇七  
明治四三・九

玄奘三藏とベナレス及び鹿野園 阿部全鼎 加持世界一〇  
ノ一一 明治四三・一

入竺求法の僧侶 桑原隲藏 六條學報三九—三九三  
(燕塵)ノ一〇—明治四四・三

桑原博士に問ふ (入竺求法の僧侶に就いて)

阿部全鼎 六條學報三九八 明治四四

阿部氏に答ふ (入竺求法僧問題) 桑原隲藏 六條學報  
四〇〇 明治四四

西域に見えたる薩佗泥濕伐羅の一部

禿亮三郎 藝文二ノ四 明治四四・四



羅什と玄奘 板原蘭教 六條學報一三一  
明治四五

新刊大唐西域記を讀む 荻原雲來 宗教界八ノ二  
明治四五・二

荻原雲來氏の批評に答へ併せて大唐西域記新刊の趣旨を  
辨す 新刊西域記校訂委員 藝文三 明治四五・三

新刊西域記校訂委員に質す 荻原雲來 宗教界八ノ四・五  
(藝文三ノ四) 明治四五・四

再び荻原雲來氏に答ふ 新刊西域記校訂委員 藝文三ノ四  
明治四五・四

西域記校訂委員に寄す 荻原雲來 藝文三ノ五又宗教界  
八ノ五 明治四五・五

更に西域記校訂委員に質す 荻原雲來 宗教界八ノ六又  
藝文三ノ七 明治四五・六

三度荻原雲來氏に答ふ 新刊西域記校訂委員 藝文三ノ七  
又宗教界八ノ九 大正一・七

西域記校訂委員の答辯 荻原雲來 宗教界八ノ九  
大正一

更に西域記校訂委員に質す 荻原雲來 宗教界九ノ六  
大正二

四度荻原雲來氏に答ふ 西域記校訂委員 宗教界九ノ九  
大正二

彌よ出でて彌よ奇なる西域記校訂委員の答辯  
荻原雲來 宗教界九ノ九大正二・九

玄奘三藏入竺行程の検討 高田修 宗教研究  
二ノ三

慈恩と西明 羽溪了諦 六條學報一五〇  
大正三・四

大唐三藏玄奘法師表啓の訓點 吉澤義則 藝文六ノ二・三  
大正四・二

唐三藏法師玄奘略傳 阿部光範 高野山時報九九一〇五、  
一一〇一、一一四、一二五、大正六・九

慈恩大師の實證主義 玉置賴晃 六條學報一九二  
大正六・一〇

棄子の三藏 倉石武四郎 佛教研究五ノ三・四  
大正一・三

玄奘三藏の寂年に就いて 松本文三郎 密宗學報一〇四  
大正一四・三

偉人玄奘 松本文三郎 宗教研究新二ノ三  
大正一四・五

玄奘の著譯書に就て 松本文三郎 藝文一七ノ四  
大正一五・四

玄奘三藏の上表記に就て 德富蘇峰 現代佛教三ノ二八・  
二九 大正一五・八

西域旅行記の記錄と干闥の玉に就き 橘瑞超 大乘六ノ四 昭和二・四

玄奘三藏の因明學 手島文倉 宗教研究四ノ五  
昭和二・九

護法戒賢玄奘の年代 宇井伯壽 現代佛教五ノ一・二  
昭和三

大唐故玄奘法師行狀雜考 小野玄妙 佛典研究二ノ二二  
昭和五・三

大唐西域記の和譯本 禿氏祐祥 宗教研究新八ノ一 昭和六  
・二又龍谷大學佛教史學論叢所載 昭  
和十四年富山  
房印行)

慈恩傳の成立に就いて 宇都宮清吉 史林一七  
昭和七

西域記解説 永井海雲 佛教大學講座一〇  
昭和九

高麗藏の舊雕本と新雕本との考證に關する實證的研究

(特に大唐西域記と大慈恩寺三藏法師傳に就いて)

大屋徳城 支那佛教史學三ノ一昭和一三

玄奘三藏入竺行程の検討 高田修 宗教研究二ノ三  
昭和一四

大唐西域記に見えたる印度河口國の諸國の研究

足立喜六 史學雜誌五一ノ一昭和一五

## 歐 洲

1. Reise des chinesischen buddhapriesters Hiüan-thsang durch Mittel-Asien und Indien. von Julius von Klaproth. 1834 Berlin.
2. Itineraire de Hiüan-thsang. (Foß-koué-ki ou relation des royaumes bodhiques.) Par C. Landresse 1836 Paris.
3. Mémoire analytique sur la corte de l'Asia centrale et de l'Inde. Par L. Vivien de Saint-Martin. 1858 Paris.
4. Ancient Geography of India. By Alexander Cunningham. 1871 London.
5. The itinerary of Yuan-chwang. By Vincent A. Smith. 1905 London.
6. The desert crossing of Hiüan-thsang. By A. Stein. 1919.

7. To the east of Samatana. On the six countries mentioned but not visited by Yuan-chwang. J. R. A. S. By Padmanath Bhattacharya Vidyavinod. 1920.
8. Hiüan-thsang and the far east. J. R. A. S. par L. Finot. 1920.
9. On ancient central-asian tracks. By A. Stein. 1933.
10. Trois termes des mémoires de Hiüan-thsang. (Études d'Orientalisme, publiées par le musée Guimet à la mémoire de Raymond Liossier Librairie Ernest Leroux.) Par Paul Pelliot.

後記 本目錄の分類法は一主題につき原典と翻譯と參考文獻の三類に分ち、原典は寫本と版本とに分ち、版本は藏經本と藏外本とに分ちが、藏經本は他に整理された目錄もあり必要はないので省略し、藏外本を主とした。翻譯は國語別とし、參考文獻は單行本を先に雜誌論文を次に掲げた。書籍の採擇は東洋學を主とした爲め、例へば文學關係に屬する大唐三藏取經詩話等は採用しなかつた。本目錄の編輯は神田教授指導の下に主に大屋學士が擔當されたもので、猶完成の域には達してゐないが、一先づ研究室事業の報告として發表を許して頂くことになつたものである。(中田)